



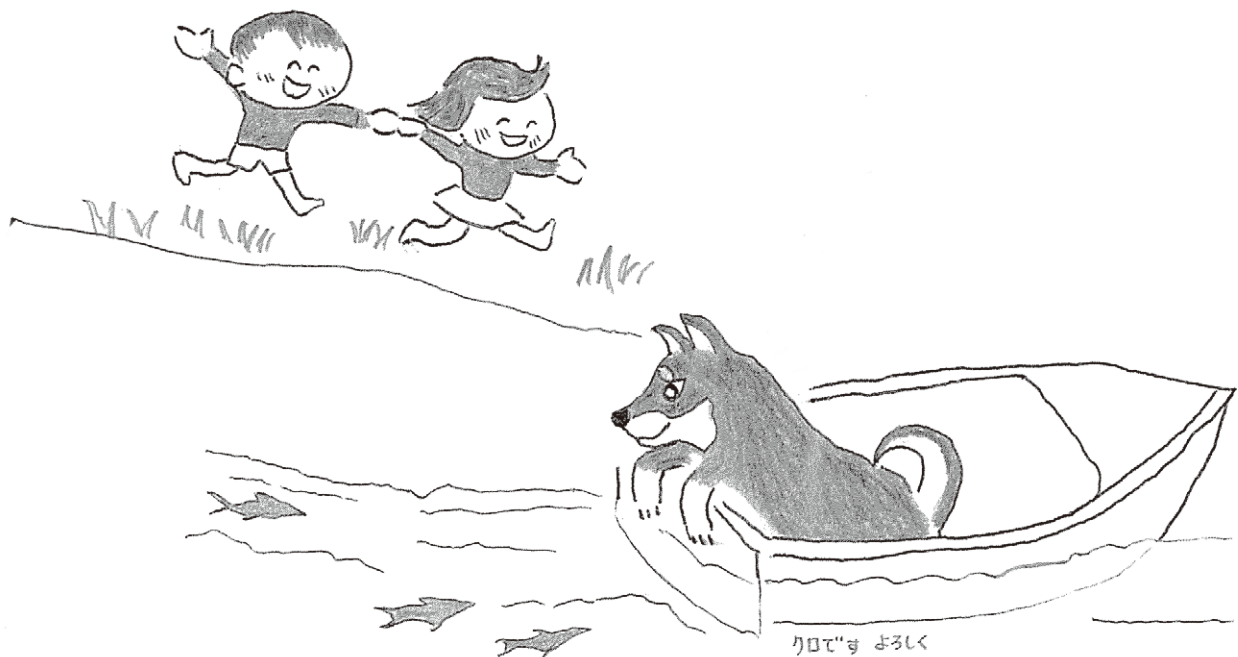
一般社団法人 埼玉私保連

広報

No.159

R7.1月
発行

何がいるのかな？



駅頭署名活動
絵本研修会報告
子ども支援課現場視察

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

駅頭署名活動



今年も恒例の駅頭署名活動が9月28日(土) 大宮駅西口で行われました。埼玉私保連・下半期オープニング行事とも言えるこの署名活動に38名の会員園関係者が参加しました。

地域間格差・職員配置基準や処遇改善・保育士不足といった保育喫緊の課題を道行く人たちにマイクで呼びかけると子連れのお父さんお母さんだけでなく、高校生・大学生といった若い人たちも次々と協力してくれ、短い間に260筆の署名が集まりました。みなさんのご協力に感謝いたします。

「取材後記」にぎわい・道行く人々・口上とくれば、どうしても『男はつらいよ』の車寅次郎を思い出してしまいました。きつと彼なら「さあ!! 大宮のみなさん!! きょうは少し保育のお勉強!! 保育ったって、ちよいと預かるだけの託児なんかとは訳が違う: たいしたもんだよカエルの小便 見上げたもんだよ屋根屋のふんどし!!」なんて口上が始まって人々の足

を止めてくれたのではと思います。そんな場面が浮かぶような、映画オープニング曲が流れてくるような、平和な一日でございました。

(広報部)



県担当課 との面談



10月28日(月)に、事前提出していた要望書について当連盟との県面談が行われました。

(子ども支援課山崎課長はじめ7名、社会福祉課1名、当連盟会長はじめ23名、県議3名出席。場所・さいたま共済会館)

県回答とその後の質疑応答では、会員園から地域区分や8年度から廃止される県の障害児保育補助事業はどうなるのか、一歳児保育の4対1を規制緩和していくのかなどの質問が出た他、東京都との格差が広がる保育園の厳しい実情を届けることができました。

以下内容の一部を報告します。

令和7年度保育関係予算要望書について県からの回答(一部)

○保育の質機能向上のための職員処遇改善について
回答) 地域区分を人勧の地域手当のまま変更すると東京都と格差が広がるので、埼玉県として国へ状況を訴えています。就職準備・奨学金補助などの県単補助事業を継続し、保育士確保対策を継続します。

○県の単独補助金制度を堅持するとともに更なる充実について
回答) 障害児の補助事業について、平成15年度から国が重度障害児だけでなく、軽度や気になる子まで拡大利用できるようになりました。国の財源が確保されているため令和8年度より、県単の障害児保育事業の補助金は廃止します。市町村には国の財源を利用して障害児補助事業ができるように働きかけます。1歳児の担当保育士雇用費については県の財政が厳しいが4対1を維持します。

○事務員及び看護師を正規雇用できるようにしてほしい
回答) 事務負担の軽減はICT補助を活用してほしい。看護師の配置加算は国に要望していきます。

さらにその後も質疑応答および意見交換、情勢報告(全国私立保育園連盟常務理事 齊藤勝氏)と続きました。

ご参加および発言いただいた会員皆様、また事前アンケートへのご協力ありがとうございました。

(予対部速報より抜粋)



第2回研修会報告

『子どもの心に寄り添って、私の絵本づくり』

日時 2024年11月6日水 13時30分～16時

場所 埼玉会館7B

講師 絵本作家 浜田桂子氏

参加園数 32園



浜田氏は子どもの心に寄り添って、「うまれてうれしい、生きていくってうれしい、おとなになるってうれしい」という思いを届ける絵本づくりをされています。今回の研修では浜田氏が作られた絵本、『あやちゃんのうまれたひ』『おめでとかいぎ』『はい』『いいえ』ほか『うごく』の四冊をとりあげ、絵本を通して子ども達に伝えたい思いをお話頂きました。

作り手として子どもの心により
そうこと、伝えたい思い

「絵本を読んだ時に見ている子ども達が『ぼくここにいます』『ぼくのこと』と書いてもらえらるるようになっています。『もう一回読んで』と言ってもらえた時は子どもの心をとらえたと思うんです。読み終えた時に嬉しうと思える、ホッとできる絵本を作りたい」とお話がありました。

た。保育園での読み聞かせの時も心にとめていきたいと思いました。

絵本への思いと伝えたい思い

◆『あやちゃんのうまれたひ』 福音館

生きていること、命のむなしさや命って何だろうと考えていたが、自分が子どもを授かった時に親から受け継がれた命が子どもに伝わっていくと思った。一つの命が生まれることは、祖先から一つも途切れることなく繋がっているのだということを知った。その感動を子ども達に伝えたい。『自分が生まれてきて良いんだ、生まれたことがまわりを幸せにしているんだ』『自分が存在していることが無条件にかけがえないもの』という感動を共有したい。望まれて生まれなかった子どもだったとしたら、周りのおとなや社会が「君が生まれてきたことがす

ごいことなんだよ」「生まれたこと自体が嬉しいことなんだよ」と伝えたい。そんな思いから子どもが生まれてくる時の家族の思いをそのまま絵本にしたそうです。

◆『おめでとかいぎ』

理論社

『大きくなることを子どもが自分で自覚するのは難しい』『大きくなることは素敵なこと』である、一年生になるときに子どもたちは「おめでとう」と言われるが子どもは新しいことへの不安がある。そんな子どもの気持ちに寄り添い、大きくなることは素敵なこと、嬉しいこと、と伝えたい。そして、その次に進み期待と喜びを伝えたい。この絵本にはそんなメッセージを詰め込んだとのことでした。

絵本の中では赤ちゃんの時使っていたものが出てきます。小さかった服や靴、おむつ、哺乳瓶、パンツなどが、だんだん大きくなり役目を終えていったことが描かれています。そして保育園の通園バッグが「さよならはありがとうのさよならです」と小学校へ入学してからの生活を想像できるものが出てきて小学校への期待を持たせてくれます。

年長組は毎年就学時検診を終えたころから、不安定になる子



どもたちが多いです。そんな子どもたちに楽しく小学校に進む勇気を与えられる絵本でした。

◆『へいわってどんなこと』

平和絵本日・中韓共同で出版

童心社

日本、中国、韓国の絵本作家12名と立ち上げた平和絵本シリーズ制作。

身近な日常の平和の姿、平和の嬉しさを子ども達と考えたいと現在、日本、中国、韓国、香港、ベトナムで出版されています。

平和をどう伝えたら良いかと質問でも出されました。戦争の悲惨さを伝える絵本がほとんどで、悲惨さを伝えることがどうかと悩んでいました。

この絵本では平和ってどんなことなのかを考え、幸せとは何かを考えるものでした。

戦争が無ければ平和か、ご飯が食べられなくても平和なのか。

平和ってどんなことを考えたいという思い。『平和ってこんなことだよ』と伝えたい。『平和って戦争をしないだけじゃない。ひとりぼっちにしない、いやなことはいやといえる。やりたいことができる。悪いことをしたらごめんさいと言ってあやまる。ゆるされる。』

好きなことを表現できる』そんな当たり前のことを大事にするこの大切さを教えてもらいました。

◆『はい』『いいえ』ほづこく』

理論社

子どもが大きくなるためにいるもの、いろいろなものを考えることは、子どもの当然の権利である。しかし、人間に欠かせない空気や水も汚染され、きれいな空気やきれいな水も子ども達に保障できているのか問いかけられています。自分で着たい服が着られ、やりたいことができる。自分の意志で選択、決定する自由と権利が守られているかなどを考え感じさせてくれる絵本でした。

子どもが「はい」「いいえ」をはっきり言えることと、子どもの声を聴いてくれる社会が重要だと先生はお話されていました。

◆最後に

子どもには絵本の読み聞かせが小さい時の記憶として残っている。その時の空気やにおい、光景が一緒になって記憶となっている。大好きな大人や友達と共感した感動、心地よさを覚えて残っている。大切にされた記憶として園での読み聞かせについても

ちゃんと見ているか、見ていないかではなく、その時の子どもたちとの心のつながりを大事にしたいと思いました。

そして「平和って嬉しいこと、幸せなこと、ホッとできること」とのお話にホッとできる素敵な気持ちになりました。

(研修部)



埼玉県こども支援課現場視察（保育園見学）

見学先 きざね保育園（市田市）
定員 90名
開所時間 7時～19時



一時保育、支援センター実施なし・特別（障害児）支援保育
対象児3名・職員総数は35名、常勤換算数では31名（保
育士24名・内看護師1名・育休中1名・保育補助者2名・
栄養士1名・調理師2名・洗濯掃除など勤務2名）

予算要望面談等で当連盟会員から県担当課へ「ぜひ保育の現場を見て来てほしい!!」との声に応えて、11月28日（木）10時～13時 埼玉県こども支援課山崎課長と阿部主幹の2名が、きざね保育園に見学にみえました。

この日は11月生まれ園児の誕生会があり、全園児がホールに集い保育士自作のパネルシアターなどを楽しむ園行事を見学。その後0歳児～5歳児の各クラスの見学。園児数・保育士数など実況中継させていただきました。低すぎる職員配置基準では保育はできないので、当園では全クラスで配置基準よりは常勤1名程多くの保育士を配置しています。職員が定着していることで、保育の充実が図られる一方、配置基準相当に算出された限られた人件費は広く薄くなつて職員の賃金に反映されます。チーム保育加算が適用されているため4・5歳児25対1改善分も非該当。人件費率は近年85～89%で厳しい赤字経営が



続いています。保育士の仕事は増加、責任は重くなる一方で、強く感じる矛盾を伝えました。

1歳児12名・保育士4名（障害児加配対象なし）県単補助の4対1以上の3対1の職員配置で保育をしています。ここでは園庭あそび・給食の時間帯を見

ていただきました。給食を食べ始めていた児にA保育士1名が付き、これから給食の児用にテーブル設定（アレルギー用テーブルは別）や盛り付け作業をしているところ、園庭から入室の児の水遊びを兼ねての手足洗い・泥砂や水濡れの為の着替えやトイレ等の対応にB保育士C保育士2名が付き、まだ園庭あそびの児に目線と言葉の応答で付き合いつつ園庭の片付けをするD保育士1名の保育といった状況でした。一人二人と徐々に給食に向かう児が増えて、保育士も「中に入りまうす」等と声を掛け合いながら持ち場・立ち位置を移動して随時の任務分担をしていきます。児らは『ジブンデ!』食べる椅子と場所を選びに椅子を取りに行きますが、ちょうどよい重たさの椅子を両手にすれば、手押し車の運転手かな、持ち運びレースかなと思わせるように、四方八方にぐちゃぐちゃと移動開始します。途中で友だちとニツカリ目を合わせてすれ違ったり、平行移動したり、椅子がぶつかり、椅子を置く場所でバトルを交わしたり…。傍らでは着替え中で全裸の児も数人が椅子運びを楽しみ姿を目にして、身体が動かずにいられません。自分のロッカーに服を選びに行くのに、またまた四方八方にぐちゃぐちゃ



と寄り道、回り道…。あわやアレルギー児テーブルに着座しようとする児に保育士の一人が給食トレーを片手に『ゴメンナさい、こっちのテーブルにおねがいしまーす』と機敏に、かつ柔軟にその子の気分と共存して乗客が運転手をお願いするかの如く言葉をかけて誘導して危険を回避。ジブンデやりたい、ジブンガ決めたあそび道具や居どころへの不法侵入は許せず、でもジブンデ決めたなら強行突破。ジブンデの意欲によって育つ今を保障したい1歳児保育のある

ある現場を観ながら、4対1の堅持は勿論、3対1の職員配置を求める要望事項について触れて頂きました。

0歳児8名に4名の保育士（うち1名看護師）で授乳や離乳食、睡眠など、一人一人違った生活リズム・発育に応じての乳児保育の様子を観て頂きました。4月から7月までの入所は4名、定員である8名になったのは10月でした。欠員延べ数は22名ですが乳児途中入所促進事業で補助を受けられるのは限度額の88万円（11名）で、限度額を設けない・対象期間を9月以



降まで延ばしてほしい事由も現状をもつて伝えました。

4歳児クラスではフルーツバスケットの最中。特別保育（障害児保育）加配対象児が座りたかった椅子に座れずにパニック状態、加配保育士が本児にびつたりと寄り添って泣き叫ぶ声に耳を傾け、クラス仲間のなかで気持ち落ち着かせ、また他児への危害が及ばないように身体を張っているところでした。もう1名の担任保育士はクラスの集団あそびを何とか継続するために、ピアノを弾きながら対象児に押し倒された児の悲しさに思いをはせている場面でした。

課長さんから「戸田市は市単の特別保育事業で1名加配（月額20万円）が有るのでよいですね」とひとこと。障害児保育事業は実施のない、または2対1や3対1加配と不十分な市町村が多く、確かに戸田市はいいね！と評されます。しかし、加配にはベテラン保育士の担当を要します。ので、20万円でも人件費1名分には到底満たない、申請をしても認定を受けられない児が市内で半数以上、申請すらできない児も多くいる、県の障害児保育事業の廃止によって、その後市町村では保育所の障害児保育にどれだけ注力できるのか、自治体格差が増々拡大されない

か、疑問を呈しました。

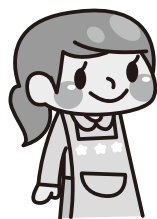
ふと男性保育士についての話になり、過去には3名、現在は1名の男性保育士がいることを説明し、男性保育士はせめてもう1、2名保育園には必要なのですが、そう伝え始めると、課長さんから「退職後も保育士をしているのですか」とご質問がありました。そこで給与面を理由に都内へ転職して保育士を続けている、他業種に転職している、また園児の保護者である男性保育士の多数事例から、結婚など経済的に家族を養う課題を負うだけに、男性保育士ほど都内への転職傾向は強いと実感していることを伝えました。そして地域区分の現行見直し案では、都心との格差拡大・保育士の都心流出の危惧があること、低賃金・少ない休日など保育士処遇の深刻な課題についての話になりました。

保育園見学は初めてのため、形式ばらず、ありのままを見せてくださいとおっしゃって真剣に保育現場を観察していただきました。こちらの保育実況中継と（私なりに）さり気なく訴える保育現場の課題難問そして要望など終始丁寧に、気さくに、丁寧に聞いてくださいました。最後は子どもたちに取り囲まれて、給食を食べて、質問攻めにあい、なかば強引なお茶のおかわりの



おもてなしを優しい笑顔で受け止めて頂き、ホッコリとあつと言う間に3時間が過ぎました。

（現場への視察訪問、大変貴重な機会と考えます。お二人様ありがとうございました。）



事務局 （一社）埼玉県私立保育園連盟
〒363-0015 桶川市南2-7-13 桶川中央マンション2F
TEL 048(772)8623 FAX 048(772)8635

〔全私保連推奨〕各種団体保険制度



有限会社ゼンポ



公益社団法人
全国私立保育連盟



東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）

「園賠償責任保険（新型コロナウイルス等対応費用補償特約付帯）」
「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」など、保育施設に
おける最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費
用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人
への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

「国内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一
の場合の育児費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品
と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

24時間のおケガ等からお守りに加えて、自転車条例で義務化されて
いる個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的
な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱
代理店

有限会社ゼンポ

TEL: 03-3865-3881
FAX: 03-3865-2806



引受
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このチラシは、このご案内は施設賠償責任保険・生計物品賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約条項付）費用・利益保険・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険（傷害保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお話しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定 東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！

全国私立保育連盟推奨（総代理店）

導入費用
無料

きっずノート

「きっずノート」は、文字だけでは
伝えきれない園での豊かな活動、
子どもたちが自ら学び・育つ姿を
「見える化」するアプリです。

保育者の
業務
省力化

子どもの
学び・育ちの
見える化

緊急時の
連絡手段

正式利用お申込みの全施設

最大9ヵ月

利用料無料！

契約更新後も料金そのまま！

利用しやすい価格に
なりました！

年間一括利用料6万円

ひと月
あたり 5,000 円（税別）

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金に変更になる可能性はございます。

詳しくはお問い合わせください。

<担当者：菅沼、佐藤>